

令和元年度

第2回 松原ジュニア（4年生以下）大会 実施要項

1. 主催 大阪府少年軟式野球協会松原支部
2. 協賛 (株)フィールドフォース、トラストユアサービス(株)
3. 期日 令和元年6月16日（日）～同9月1日（日）頃まで
4. 会場 松原市内グラウンド
5. 目的 学童軟式野球を通じ府内スポーツ少年少女達の交流と青少年の健全育成を図る。
6. 参加資格 小学校4年生以下の男女で構成されたチーム
7. 参加申込 郵送にてお願い致します。
(1) 申込締切日 令和元年5月12日（日）までにお願いします。
(2) 宛先 〒583-0858 羽曳野市古市1-15-4
大会事務局 近藤 竜
携帯 090-8659-5040
※参加予定チーム数 約40チーム予定(到達次第締切ります)
8. 規則 2019年度公認野球規則及び競技者必携及び、松原支部別定ルールを適用する。大会はトーナメント方式とする。
5回戦60分試合とする。
投手間は14m。塁間は21mとする。
試合審判はベスト8まで各チーム義務審判1名ずつお願い致します。
10. 使用球 マルエスボール C号
11. 抽選会 2019年5月15日（水）に当支部において厳正に代理抽選を行います。
12. 参加費用 8,000円
※振込用紙を使用し、6月7日（金）までに振込ください。
13. 表彰 優勝 優勝旗・優勝杯（持ち回り）・賞状・金メダル15個副賞
準優勝 準優勝楯（持ち回り）・賞状・銀メダル15個副賞
3位 賞状・銅メダル15個（3位チームは2チーム）
最優秀賞・優秀選手賞・ホームラン賞
14. その他 事故発生時の治療費及び補償は各チームの傷害保険にて対応お願い致します。
15. 選手登録 選手登録は当日のメンバー表をもって有効と致します。

大阪府少年軟式野球協会 松原支部

第2回 松原ジュニア大会フィールドフォースカップ — 競技に関する大会特別規則 —

1、試合規則は2019年度公認野球規則及び2019年度全軟連競技者必携並びに本大会に関する取決めによる。

① 投手は1日70球までとする。

投球の途中に70球に到達した場合は、その打者が完了するまで投球することができる。

② 試合は5回戦とする。

③ 時間制限を採用し、60分を過ぎた場合は新しいイニングに入らない。

④ 得点差によるコールドゲームを採用し、3回終了時10点差、4回終了時7点差とする。

⑤ 試合が決められた回数、時間で同点の場合は抽選により勝敗を決める。

但し、ベスト8（準々決勝）からは同点の場合は1回のみ延長戦（タイブレーク）を行う。

（決勝戦を除く）

※競技者必携23頁参照

（2）延長戦（タイブレーク）

継続打順で前回の最終打者を一塁走者とし、二塁の走者は順次前の打者とする。すなわち、無死一・二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。

勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は許される。

⑥ 4回終了以降、日没、降雨などで試合続行が不可能と判断した場合、終了した均等回の合計得点を以って勝敗を決する。

尚、4回以前に中止になった場合は、後日再試合とする。

決勝戦について

① 時間制限については90分（大会特別規定）を過ぎて新しいイニングには入らない。

② 得点差によるコールドゲームを上記と同じく採用する。

③ 90分を過ぎるか5回を終了した時点で同点の場合は最大2イニングの延長戦（タイブレーク）を行う。

2、金属・ハイコン（複合）バットは全軟連公認のJSBBマークの入ったものを使用する事。
装具は全軟連公認以外の使用を禁止する。

3、監督・コーチは次の場合を除きベンチを出てはいけない。

① 抗議及び選手交替を告げる場合。

② 審判員より招致があった場合。

4、試合中の抗議が許される者は監督及び当該プレイヤーに限る。

5、抗議については、審判員が協議して決定する。決定後はいかなる場合においても審判員の判定に従う。

第2回 松原ジュニア大会フィールドフォースカップ — 競技運営に関する大会取り決め事項 —

- 1, 下記に定められた事項はチーム全員に必ず共有すること。
- 2, ダッグアウト（以後ベンチ）は組合せ番号の若い方を一塁側とする。
- 3, 次の試合を行うチームは、試合開始時刻の開始30分前までに本部へ打順表4通を持参すること。打順表には選手9名以外に当日出場予定の控え選手も記入する。その打順表において当日の選手登録と見なす。
- 4, 試合中ベンチに入れる人員は打順表に記載されたユニフォーム着用の監督(30番)、コーチ(28番、29番)、チームの代表者及びマネージャー、球数記録員の計6名以内と当日打順表に記載されたユニフォームを着用した選手10名以上～20名以内とし、主将は必ず10番を付けること。
※熱中症対策要員としてベンチ内に指名された母2名は特別対応として入ることが出来る。
- 5, 試合前のグラウンド内での指導はユニフォーム着用した監督またはコーチに限る。
- 6, 小雨の場合でもグラウンド使用可能な場合は試合を行いますのでチームでの勝手な判断をしない事。
- 7, 試合開始予定時刻前でも前の試合が早く終了した場合は次の試合の開始を早めることがある。
- 8, 試合開始予定時刻になっても試合ができる状態でないチームは棄権とみなす。
- 9, 打順表提出以後の選手の追加登録及び変更は認めない。
- 10, 鐘、笛、太鼓等を使用しての応援、またはハンドマイクなどの使用は認めない。投手が投球動作を起こすと同時に歓声や相手チームの選手に対する暴言や過度なプレッシャーと判断した場合は審判員または本部役員が注意を与える。
- 11, ベンチ内のメガホンは1個に限り使用可能とする。
- 12, 大会使用球は主催者側が準備をする。使用球はマルエスボール（J号）とする。
- 13, 選手に万一不正選手等の不祥事があった場合は、チーム全体を失格とし今後の大会出場も出来ない事とする。
- 14, サングラスは使用可能とする。（競技者必携競技運営に関する注意事項 16頁20）但し、本大会特別規定によりレンズの濃淡は、目の見える範囲と定める。試合前後の挨拶の際は必ず外すこととする。
- 15, 監督、コーチ、選手は試合出場に際し、統一したユニフォームを着用する。スパイクの色は自由とするが、金具の付いた物は使用不可とする。
- 16, 選手の背番号は0番～99番までの番号とし、監督は30番、コーチは28番、29番、主将は10番とする。
- 17, 試合中、打者、次打者、走者、ベースコーチは必ず両耳にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用する。（最低7個は用意すること）
- 18, 捕手は必ず全軟連公認マスク（スロートガード付き）、プロテクター、レガーズ、捕手用ヘルメット及びファールカップを着用する事。又攻守交替時の準備投球を受ける捕手も全て着用が望ましいが、最低限として、マスク、捕手用ヘルメットは必ず着用する事。
- 19, 打順表を提出した後、次の試合のバッテリーはブルペンを使用する事が出来る。但しブルペンの捕手は必ずマスク、プロテクター、レガーズ、捕手用ヘルメットを着用する事。
- 20, グラウンドで起きた負傷に関しては主催者は応急処置をする他は一切その責任を持たない。従ってチーム代表者及び保護者で後の処理に関わる責任を持つこととする。
- 21, グラウンド内外でのゴミは必ず収集し、各自持ち帰るようにする。球場内及び周辺を汚さない。また喫煙に関しては指定された場所以外では認めないこととする。
- 22, 代表者はチームの引率その他全ての事について責任を持ち、十分な注意を払う事。主催者はその責任を持たない。
- 23, 駐車場、道路、またグラウンド以外のその他敷地でのキャッチボール、バットの素振り等は禁止とする。
- 24, 雨天の場合の問い合わせは別紙による。第一試合の有無の決定は午前7時に決定するのでそれ以前の問い合わせには応じない。
問い合わせに関しては申し込みの際に記載されている事務局、または監督（代表者）のみとする。父兄やその他コーチからの問い合わせは応じない。
- 25, 試合会場により駐車場の台数制限があります。指定の台数を守るようチームでの共有をお願いします。
- 26, 女子選手は1学年上（5年生）まで参加することができる。